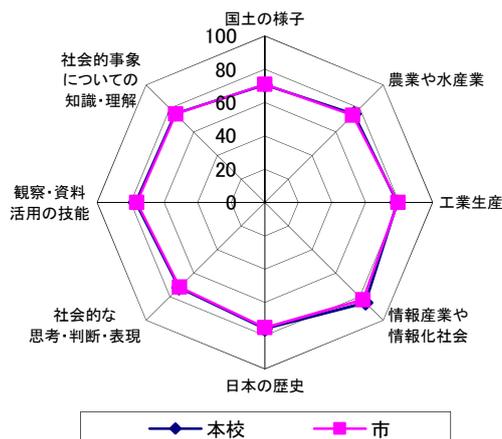


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	70.7	71.0	69.4
	農業や水産業	75.2	74.0	69.0
	工業生産	78.9	79.4	75.4
	情報産業や情報化社会	85.1	82.8	88.7
	日本の歴史	75.8	75.2	72.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	72.4	71.9	67.2
	観察・資料活用の技能	77.0	76.3	70.7
	社会的な事象についての知識・理解	75.6	75.1	73.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<p>○「日本の周囲の国の国旗を理解している」の正答率は83.3%で、市の正答率を6.0ポイント上回っている。</p> <p>○「日本の周囲の海洋名を理解している」の正答率は81.6%で、市の正答率を2.1ポイント上回っている。</p> <p>●「国土の主な山脈、川、平野の名称について理解している」の正答率は53.5%で、市の正答率を6.7ポイント下回っている。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・国土の主な山脈、川、平野の名称については、教室掲示やプリント等で授業の中で触れていき、意欲を高めるとともに正しく覚えられるよう指導していく。</p>
農業や水産業	<p>○「日本が食糧確保において抱える問題について、資料を読み取って考えることができる」の正答率は53.5%で市の正答率を4.2ポイント上回っている。</p> <p>●「稲作の工夫や努力について資料を読み取ることができる」の正答率は86.8%で市の正答率を1.4ポイント下回っている。</p>	<p>・「農業や水産業」の領域では、市の平均と同等もしくは上回っており、今後も興味・関心が続いていくよう教師の説明等に話題を盛り込んでいく。稲作の工夫や努力については、その際の話の中心として話し、内容を補っていく。</p>
工業生産	<p>○「工業生産に従事している人々による、環境保全のための工夫や努力について考えることができる。」の正答率は95.6%で市の正答率を1.7ポイント上回っている。</p> <p>●「工業製品を、工業の種類別に分類・整理することができる」の正答率は62.3%で市の正答率を2.7ポイント下回っている。</p>	<p>・工業の種類とその製品についてプリント等で整理させ、内容について理解を深めていく。</p>
情報産業や情報化社会	<p>○「医療現場での情報ネットワークの活用で、サービスが向上したことに関して資料を読み取って考えることができる」の正答率は75.4%で市の正答率を4.3ポイント上回っている。</p>	<p>・「情報産業や情報化社会」の領域では、市の平均と同等もしくは上回っており、さらに興味・関心を広げるべく新聞やテレビ等のメディアからの情報を話題として取り上げ、意欲を高めていく。</p>
日本の歴史	<p>○「板垣退助の働きを通して、国会開設までの課程について理解している」の正答率は73.7%で、市の正答率を2.7ポイント上回っている。</p> <p>○「日露戦争について理解している。」の正答率は74.6%で、市の正答率を3.5ポイント上回っている。</p> <p>●「聖徳太子が定めた十七条の憲法の目的を理解している。」の正答率は56.1%で、市の正答率を3.2ポイント下回っている。</p>	<p>・聖徳太子や源頼朝、徳川家光等の歴史上の人物に関わる出来事の資料を複数用意して復習し、改めて理解させていく。さらに、歴史上の好きな人物に関して新聞等の資料にまとめる作業を通し、歴史について興味・関心が高まるよう指導していく。</p>